

中学校 2019年度第一回学校見学会の実施 5/25 (土)

東洋大学附属牛久中学校高等学校 校長 遠藤隆二



本校の学校行事を説明する中学3年生の様子

5月25日(土)午後2時30分からMPHにて、2019年度第1回中学校学校見学会が実施された。この日は各地の小学校で運動会があったことや真夏日で今年一番の暑さであったことなどが影響してか? 見学会への参加者は35名に留まった。しかし、参加者は熱心にメモを取り、質問したりしている様子なども見られ、本校教育の特色は理解して貰えたのではないかと思います。今後も見学会を予定しています。中学校受験を考えている関係者の皆さん、是非一度本校に足を運んでいただき、本校を理解していただければと思います。

【今後の中学校の「学校見学会」の予定】

第2回6月22(土) 14:30~ 第3回7月13(土) 14:30~
 第4回8月4(日) 9:30~ 第5回8月11(日) 9:30~

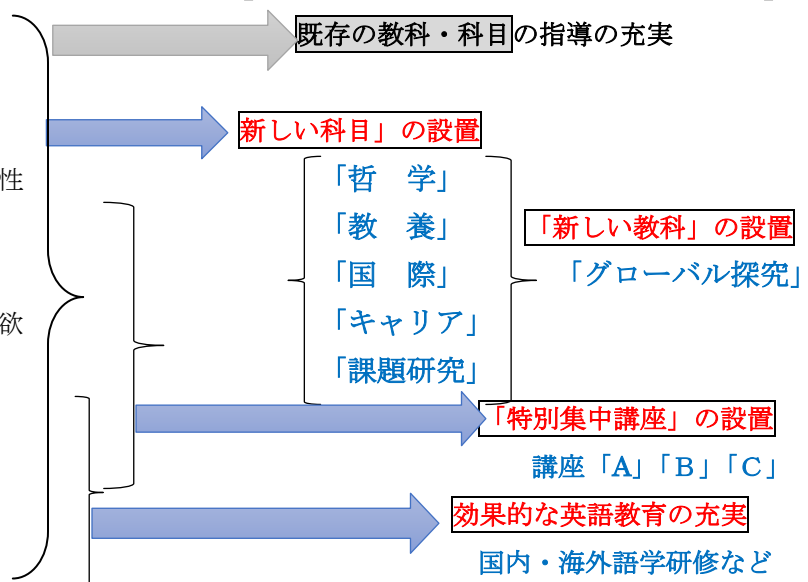
平成27年4月に開校した本中学校は今年度で5年目になります。母体校の高校が平成26年3月、文部科学省からSGHA(スーパーグローバルハイスクール・アソシエイト校)に選定されたことから、本中学校も中高一貫校のメリットを生かして開校時から「変化の激しいグローバル社会を【たくましく生き抜く力=人間力】を育成する」ことをコンセプトに教育課程を編成し、その柱に「グローバル教育」を据えて「グローバル探究」科目を学習させるとともに、全生徒に海外生活・Homestay体験をさせています。また、生徒一人に一台

のタブレット端末(iPad)をもたせ、iPadやプロジェクターなどICTを駆使したアクティブラーニングを行うなど、生徒の主体的な学びを支援しています。例えば、課題研究では仲間と協力して調べ学習を行い、課題を見つけて分析し、考察し、それを道筋立てて文章にまとめ、できるだけ多くの人々に説明させる(プレゼン)ようにしています。当日

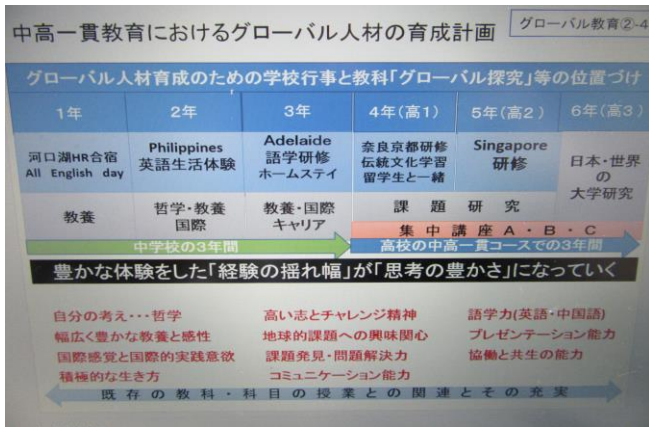
【グローバル人材の素養】

- ・豊かな教養と豊かな感性
- ・世界の多様な文化の理解
- ・日本の伝統文化の理解・説明
- ・自己の哲学と日本人としての主体性
- ・地球的課題への興味関心
- ・世界情勢の理解
- ・知的好奇心と高い志、キャリア意欲
- ・課題発見・問題解決力
- ・行動力・実践力
- ・プレゼンテーション力
- ・コミュニケーション力
- ・英語力

【グローバル人材の素養育を育成する方策】



は、上記写真のように3年生が日頃のプレゼンの成果を生かして、自分たちの学校の様子を説明してくれました。



中高一貫6年間のグローバル教育計画を視野に入れ実施している

上記内容を3年間学習して卒業した1期生と2期生、そのいずれも97%が本高校の中高一貫コースに進学しています。彼らの3年間の本中学校での学習成果はどうだったのか。下記の資料「中学3年4月実施の全国学力テスト」の結果と中学卒業時点の「英語検定資格取得状況」を示して、全国の中学3年生の学力と本中学生の学力を比較するとともに、卒業時の英語検定の政府到達目標と都道府県別の到達結果と本校生の状況を比較してみました。本校1期生と2期生の成績は下記の通り。本中学生は全国トップの都道府県の成績（平均正答率）と比べても遜色はないし、英語検定資格取得でもトップの都道府県の成績をはるかに上回っており、グローバル教育の成果が見られよう。

平成29年度全国学力・学習状況調査結果 平成29年4月18日実施・・・第1期生(62名) 3年4月の状況					入学年度別の卒業時(3月)点での英語検定資格取得状況											
平均正答率	全国平均	茨城県平均	本校	全国1位・2位の都道府県の平均	入学年度	4級以下 人数 割合	4級 人数 割合	3級 人数 割合	準2級 人数 割合	2級 人数 割合	準1級 人数 割合					
本校第1期生、3年次の学力の状況(国語と数学)					1期生 62名 平成29年3月 本校進学60名	8	12.9	2	3.2	21	33.9	26	41.9	5	8.1	0
国語A: 知識力	公立 7.7% 国公私立 7.8%	7.8% 12位	8.2%	全国1位 82% 秋田県・石川県・福井県	2期生 74名 平成30年3月 本校進学72名	7	9.4	6	8.1	31	41.9	24	32.4	6	8.1	0
国語B: 活用性	公立 7.2% 国公私立 7.3%	7.4% 6位	80%	全国1位 秋田県は 78% 2位の石川県・福井県の77%	3期生 55名 2020年3月 本校進学0名											
数学A: 知識力	公立 6.5% 国公私立 6.6%	6.5% 17位	72%	全国1位 福井県は 73% 2位は石川県69% 3位秋田県68%	1期生 3級以上52名 83.87% 準2級以上31名 50.00% 2級以上5名 8.06%											
数学B: 活用性	公立 4.8% 国公私立 4.9%	4.8% 17位	57%	全国1位 福井県は 54% 2位の石川県は53%	2期生 3級以上62名 83.78% 準2級以上30名 40.54% 2級以上6名 8.11%											
文部科学省の全国学力・学習状況調査結果・・・国語と数学の知識力・活用性について本校生の学力は全国及び茨城県と比べて高い、全国の1位2位の秋田・石川・福井県と比べても遜色は見られない。					平成25～29年度までの文部科学省の「国際共通語としての英語力の達成目標」 中学校卒業時に英語検定3級程度以上 政府目標 50% 平成29年度目標達成率 全国平均 40.7% 全国1位の福井県 62.8% 茨城県43.3% 平成30年度目標達成率 全国平均 42.6% 全国1位の福井県 61.2% 茨城県41.6%											

1期生と2期生がそのような成果を上げることができたのはなぜか？ 本校では次のように考えています。

- 「少人数の教育で丁寧な指導ができたから」・・・本校生は少人数であるため、どの教員も一人一人の生徒の顔と名前を一致させ、生徒それぞれの個性や能力等を理解し、それに即した指導をしてきたからではないか？
- 「豊富な授業時数を指導に充てることができたから」・・・完全週6日制を実施し、週38時間の授業を確保している。国数英は公立学校の1.5倍、理社は1.3倍の授業を行い、基礎基本を繰り返し指導したからではないか？
- 「グローバル教育の成果が出ているから」・・・哲学・教養・キャリア・国際・課題研究の科目から成る教科「グローバル探求」を特設し、実施したことから視野が広まり主体的な学びの習慣が身についたからではないか？
また国内外の語学研修の実施や海外の中高生の受け入れ交流を行うなど英語教育を充実させたからではないか？
- 「学習環境に恵まれているから」・・・冷暖房設備はもちろん、iPadやプロジェクターなどICT教育環境などとともに、海外homestay研修などを取り入れた特色ある教育課程を着実に実施したからではないか？

入学当初の彼らの状況を思い浮かべ、本校での3年間の生活を振り返ってみると、彼らの成長がとても顕著である。「バラティエーに富んだ体験ができたからだ」と考えている。恵まれた学習環境の中で、他校にはない豊富な体験ができるのが本校の魅力であると思う。中学受験を希望され、本校に興味関心のある方は、どうぞ、本校に来ていただいて、生徒たちの姿をはじめ、学習環境や教育課程、教員の姿なども観察していただければと思います。そして、生徒たちに声をかけ、話をして下さい。是非ご来校いただき、本校の真の姿をご理解いただきたいと思います。